



かまくら

議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) [検索](#)

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成24年6月定例会（6月13日～28日）

一般会計補正予算（人件費削減等）を可決

●定例会の概要

- ・今定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。
- ・市長提出議案として、条例関係議案9件、一般会計等補正予算7件、その他5件を可決し、副市長の選任に同意しました。
- ・議会提出議案として「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」「鎌倉市議会議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」、附帯決議1件、意見書2件を可決。決議1件を否決。請願1件、陳情2件を採択、陳情3件を不採択としました。

●定例会の主な動き

- 本会議(6/13～18)……………一般質問、議案上程、採決 (2～4面)
- 各委員会(6/19～22、25、27、28) ……議案・請願・陳情審査等 (3面)
- 本会議(6/28) ……委員長報告、議案上程、採決 (3・4面)
- 全員協議会(6/28)……………寄付の申出を受けた土地・建物等に関する取扱いについて (3面)

鎌倉市議会ってどんなところ? Vol.2

議場

本会議を行う場所です。議会側は全議員が、市側は市長・副市長・教育長のほか全部長などが、この議場に集まって議案（条例・予算）、請願・陳情などを審議し、議会の最終意思を決定します。



事務局

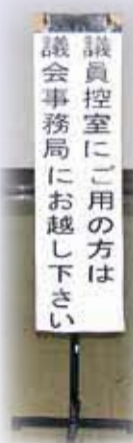
議会事務局は市と議会の相互調整を行い、議会の円滑な運営を行うとともに請願・陳情の受け付けや、議会活動のサポートをしています。



各委員会の傍聴 議員への面会等

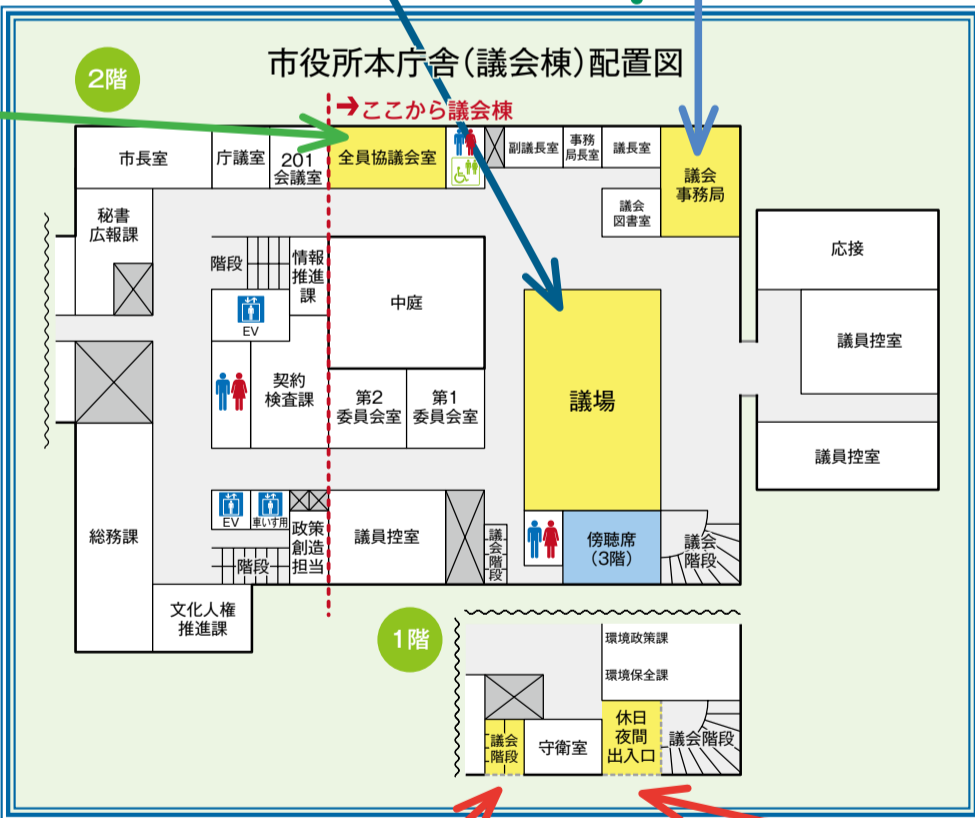
本会議の傍聴受付は、守衛室で行っています。また各委員会の傍聴受付は議会事務局で行っていますので直接議会事務局へお越しください。

なお、各議員へ面会の方は、議員控室へ行く前に、一度議会事務局へお立ち寄りください。



全員協議会室

全員協議会を初め各常任委員会や特別委員会を開催する場所です。本会議は市長や部長等が答弁しますが、委員会は、より実務的かつ詳細な審議を行うため、担当課長などが答弁を行います。各常任委員会の構成は3面をご覧ください。



①議場傍聴席入口

本会議の傍聴はこちらからお越しください。(車いす専用スペースもあります)

傍聴席



②議会棟入口

守衛室脇の右側、議会棟の入口です。本会議の傍聴以外は、こちらからお越しください。



車いす利用の方は市役所エレベーターで2階に上がり、議会事務局へお越しください。

1面に市議会の紹介記事を設けたため、「かまくら議会だより」の掲載写真の募集はしばらく休止します。

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、6月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。ここでは広報委員会にて抜粋し、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、9月上旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

吉岡 和江	……	「市民生活の実態について」「子育て支援の充実について」
前川 綾子	……	「子どもが育つ環境の整備について」
長嶋 竜弘	……	「鎌倉の交通計画について」
太田 治代	……	「鎌倉の津波対策について」「子どもにかかる放射線対策」
松中 健治	……	「市長の政治姿勢」
久坂 くにえ	……	「鎌倉の子育て環境について」
高野 洋一	……	「省エネ対策などのエネルギー政策について」
石川 敦子	……	「児童発達支援事業・放課後等デイサービスの活用について」「障害者サービス利用における問題点」「市民後見人の養成について」
飯野 眞毅	……	「道路行政について」
中澤 克之	……	「防災等について」「子ども達の環境等について」
三宅 真里	……	「安心子育て」「ごみ問題」
渡邊 昌一郎	……	「着地型観光商品開発等に係る諸問題について」
西岡 幸子	……	「母子福祉について」「地域防災計画の拡充について」
千 一	……	「障がい者と農業」「ヘルパーさんの賃金について」「鎌倉市の介護政策について」
山田 直人	……	「行財政改革について」
渡辺 隆	……	「鎌倉の街づくりと文化財行政について」
納所 輝次	……	「民間活力を活用した公共サービス提供のあり方について」

子育て支援

本市における子育て支援について、次のような視点から質問が行われました。

子どもの安全

【子どもの安全の確保】

質問：今年大阪で、学童保育の指導員が子どもたちを引率して学童保育に連れて行く途中、車にはねられた事故があったが、本市において子どもの家に来所または帰宅する途中の事故件数及びその対策を聞きたい。

同部長：子どもの家の入所定員を超えている状況の中、指導員の人数をきちんと確保することも大事であると考えている。

質問：子どもの家の入所定員を超えている状況の中、指導員の人数をきちんと確保することも大事であると考えている。

同部長：現在、子ども会館・子どもの家には併設館も含めて100名以上の指導員がおり、児童虐待や発達障害については、指導員の採用時に職員が現場に向いて研修を行っている。

同部長：子ども会館・子どもの家の入所定員を超えている状況の中、指導員の人数をきちんと確保することも大事であると考えている。

同部長：子ども会館・子どもの家の入所定員を超えている状況の中、指導員の人数をきちんと確保することも大事であると考えている。

子育て環境

【待機児童対策】

質問：保育園は4月以外の入園が難しいことから、育児休業の期間を早めに切り上げて仕事に復帰する方も多い。本来の育児休業を全て消化できれば、長く家庭で育てられる環境づくりになると考える。

同部長：育児休業明けの入園についても柔軟に対応することはできないか。

同部長：待機児童の9割を占めている低年齢児の受け入れを目的とした家庭的保育事業、いわゆる保育ママ制度の実施に向けた状況について聞きたい。

同部長：夏の本格事業実施に向けて、家庭的保育者との契約や具体的な保育場所の整備の準備を行っているところであり、引き続き家庭的保育者の養成研修にも取り組んでいく。

子ども会館・子どもの家

【耐震化・老朽化対策】

質問：耐震化対策はどのくらい手前で進めているのか。

同部長：定員を超過している施設への対応として、今年度、やまさき子どもの家の増築を計画している。

同部長：子ども会館・子どもの家の耐震化対策として、古い子ども会館の移設や、おなり子どもの家を市役所内に一時移転をす

同部長：子ども会館・子どもの家の耐震化対策として、古い子ども会館の移設や、おなり子どもの家を市役所内に一時移転をす

本会議・委員会映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。(録画映像も見ることができます。)



議員有志で調査研究活動を行っている「政策法務研究会」の研究活動内容も紹介しています。

鎌倉市議会ホームページはこちら！

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.html>

または、[鎌倉市議会](#) 検索

用語の解説

※印の用語について解説します。

子ども子育て新システム

全ての子どもへの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的として、子ども

子育て支援関連の制度、財源を一元化する新しい仕組み。

これにより、質の高い学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における

養育支援の充実が図られ、それぞれの家庭の状況に応じて、さまざまな教育の提供・保育

サービスを受けることを目的とする。

HUG(ハグ) (Hinanzyo Unei Game)

避難所運営ゲームの略。避難所運営を皆で考えるために開発されたツールで、参加者は、年齢や性別、国籍など、固有

の情報が書かれたカードを、避難所に見立てた体育館や教室の平面図に配置していく。

どれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかなど、避難所運営を

ゲーム形式で模擬体験できる。

防災対策

本市における防災対策について、次のような視点から質問が行われました。

【津波対策】

質問：時期や場所、避難人数などにより、避難計画は大きく変わってくる。夏場や正月など、さまざまなケースを考えたシミュレーションが必要ではないか。

市長：動画は、地域の方々の危機意識を高めるために有用なツールと考えている。今後、さまざまな手法について検討する中で考えていきたい。

質問：津波ハザードマップの改定に際しても、この考えに基づいた手法が必要になると思っており、専門家のアドバイスを参考に、地域特性を考慮した避難方法を検討していきたい。

質問：津波ハザードマップなどを多くの人が集まる場所に設置することも、防災意識の啓発に効果的であると考えるがどうか。

同部長：津波ハザードマップなどを掲示し、注意喚起することには啓発効果があると思う。今後、避難経路や避難方法を示す看板等を優先的に整備していく予定だ。

質問：東日本大震災以降、各自治体で防災計画の見直しが進む中、避難所運営の体験型訓練ができる、HUG(※)が注目を集めている。

市長：教職員の有事への対応、防災教育に対する指導力の向上などの面で、HUGは有効な手法と考えている。

8月に実施する研修会では、小・中学校の教職員を対象に、実際にHUGを用いて避難所運営の模擬体験を実施する予定であり、まずは実際に学び、体験することで、その活用について検討していきたい。

要と考えているが、HUGの活用により避難所運営の模擬体験をすることは、災害時における迅速な行動が身につく、また防災意識の向上などのメリットもある。

訓練手法の一つとして、専門家のアドバイスなども参考に検討していきたいと考えている。

教育長：教職員の有事への対応、防災教育に対する指導力の向上などの面で、HUGは有効な手法と考えている。

8月に実施する研修会では、小・中学校の教職員を対象に、実際にHUGを用いて避難所運営の模擬体験を実施する予定であり、まずは実際に学び、体験することで、その活用について検討していきたい。

アスベスト問題の早期解決を求めることについて国に対し意見書を提出してほしいというもので、委員会、本会議ともに総員により採択した。

神奈川県最低賃金改定に関する意見書提出についての陳情

陳情の要旨及び審議結果

「安全安心な環境」実現のため、サーモコンクリートの耐震強度確認と、その結果に応じた早期の対策実施を、議会として市に働きかけ推進してほしいというもので、委員会、本会議ともに多数の賛成により採択した。

不採択とした陳情

次陳情3件については、少数の賛成により不採択とした。

市会議員11名削減についての陳情

鎌倉市議会の議員数の削減についての陳情

議会議員の現状定数を維持するよう求める陳情

各委員会の 委員構成の変更

6月13日開会の本会議において、各常任委員会委員の所属変更が行われ、併せて、各常任委員会等の委員長・副委員長が新たに選任されました。詳細は左表のとおりです。

委員 (◎委員長 ○副委員長)	
総務常任委員会	◎山田 直人 ○安川 健人 伊東 正博 中澤 克之 岡田 和則 高野 洋一 太田 治代
精こどもみらい部委員会	◎前川 綾子 ○久坂くにえ 石川 敦子 渡辺 隆 納所 輝次 小田嶋敏浩 高橋 浩司
観光厚生常任委員会	◎飯野 眞毅 ○長嶋 竜弘 千 一 西岡 幸子 渡邊昌一郎 三宅 真里 吉岡 和江
建設常任委員会	◎赤松 正博 ○池田 実 中村聡一郎 大石 和久 石川 寿美 松中 健治
議会運営委員会	◎池田 実 ○納所 輝次 飯野 眞毅 石川 敦子 高野 洋一 安川 健人 山田 直人 前川 綾子 吉岡 和江 石川 寿美
議会広報委員会	◎太田 治代 ○長嶋 竜弘 西岡 幸子 飯野 眞毅 久坂くにえ 渡邊昌一郎 小田嶋敏浩

※観光厚生常任委員会の所管であったこどもみらい部が文教常任委員会の所管となったことを受け、文教常任委員会は、教育こどもみらい常任委員会へと名称変更しました。

可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。今定例会では次の意見書を可決し、鎌倉市議会として関係機関に送付しました。

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求めることに関する意見書

アスベストを原因とすると思われる中皮腫や肺がんが死亡する事例が全国で報告され、アスベスト被害に対する国民の不安が高まっている中、現在でも建物の改修、解体に伴うアスベスト飛散により、労働者や住民に被害が拡大し続けている。中でも、建設業従事者に最大の被害者が生まれている。アスベスト使用用途の約8割が建築資材関係と推計されることや、他の先進国が1970年代後半からアスベスト使用量を急減させたこととは対照的に、日本では1990年代前半まで大量の消費を続けてきたことが、その背景にあると考えられる。建設業は重層下請け構造であり、また作業者が多くの現場に従事することから、労働災害に認定されることには困難性が伴う上に、多くの製造業で支給される企業独自の補償もない状況である。東日本大震災で発生した大量の瓦礫処理についても被害の拡大が心配されている。よって、国におかれては、建設業従事者のアスベスト被害者への早期救済を実施するとともに、被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、問題の早期の解決を図るよう要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月28日

鎌倉市議会

神奈川県最低賃金改定に関する意見書

今日厳しい経済情勢等による新規卒業も含めた正社員の採用減少や、雇用形態の多様化の名のもとに進められた労働者の非正規化等により、非正規労働者の増大とそれに伴う低賃金層が増大している。また非正規労働者にはみずから一家の大黒柱として生計を維持している層も拡大している。とりわけ、今後社会を支える若年層が安心・安定が確保された生活を営むことを可能とするためにも、最低賃金制度が果たす役割がますます大きくなっていくと考える。なお、この神奈川において最低賃金は生活保護費を下回っており、労働意欲に与える影響を看過することはできない。かかる状況を勘案しますと、今日ほど賃金のセーフティネットの充実が求められているときはなく、最低賃金制度は賃金格差を是正するために必要不可欠な社会的セーフティネットの一つである。真のセーフティネットとして有効に機能させるためには、地域別最低賃金の改善、企業内最低賃金協定の締結拡大を進め特定最低賃金による事業の公正競争の確保、均等・均衡待遇が重要な課題であると考えられる。以上の観点から、国で次のとおり実施するよう求めるものである。

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。とりわけ「同一価値労働同一賃金」の観点に立ち、フルタイム正規労働者の賃金水準への接近を基本にその改定を図ること。また特定最低賃金の改定については大企業の組織労働者の賃金水準への接近を基本にその改定を図ること。
 - 2 最低賃金の改定にあたっては地方最低賃金審議会の自主性を尊重すること。
 - 3 最低賃金議論については、生活保護との整合性が明確にされたことから、早期に生活保護を下回らない「生活できる最低賃金」となるよう適切な対応を図ること。また、その趣旨及び内容の周知徹底を強化すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月28日

鎌倉市議会

鎌倉市議会からのお知らせ

◇かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内
「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版(収録テープ)と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

◇請願・陳情の出し方
市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

請願と陳情の違い…請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。

提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査、期限を過ぎての提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局 議事調査担当

電話：0467-23-3000 内線2448
FAX：0467-23-5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

全員協議会

寄付の申出を受けた土地・建物等に関する取扱いについて

6月定例会閉会後(6月28日)に、議会全員協議会を開催し、市長から報告を受け、質疑を行いました。報告の概要は次のとおりです。

これらの財産の用途は、世界遺産ガイダンス施設及び(仮)鎌倉博物館の整備用地として活用する方向で検討・調整を進める予定です。寄付及び取得の内容は左表のとおりです。

寄付の内容	
①鎌倉市扇方谷一丁目26番14他 (一般財団法人所有)	
土地	3,252.00
建物	342.77
土地	3,089.78
建物	267.56
②鎌倉市扇方谷一丁目26番89他 (企業所有)	
土地	2,225.44
取得の内容	
③鎌倉市扇方谷一丁目26番27他 (個人所有)	
土地	6,785.24
建物	1,137.77

東京都内の一般財団法人及び企業から文化的施設に役立つよう、土地・建物等を寄付したいとの申し出があり、その土地等が鎌倉駅にも近く市民の共有財産として有効な活用が見込まれることから、寄付を受けようとするもので、併せて、隣接する土地・建物の取得をしようとするものです。

各会派所属議員

(○印は代表者、括弧内の表記は略称)

議決された主な議案等

○賛成 △多数賛成 ●反対

神奈川ネットワーク運動・鎌倉 (神奈川ネット)
 ○三宅 真里、石川 敦子、太田 治代、石川 寿美

日本共産党鎌倉市議会議員団 (日本共産党)
 ○吉岡 和江、高野 洋一、小田嶋 敏浩、赤松 正博

鎌倉みらい (鎌倉みらい)
 ○前川 綾子、伊東 正博、渡邊 昌一郎、池田 実

公明党鎌倉市議会議員団 (公明党)
 ○納所 輝次、西岡 幸子、大石 和久

鎌倉無所属の会 (鎌無会)
 ○高橋 浩司、長嶋 竜弘、安川 健人

かがやく鎌倉を創る会 (かがやく鎌倉)
 ○中村 聡一郎、久坂 くにえ、山田 直人

民主党鎌倉市議会議員団 (民主党)
 ○岡田 和則、飯野 眞毅

無所属
 松中 健治、千 一、渡辺 隆、中澤 克之

※会派とは、市政に対して同じ考え方、意見を持つ議員の集団のことをいいます。本市議会では、代表質問を行ったり議会運営委員会の委員となる、いわゆる議会運営上の交渉会派は所属議員2人以上以上しています。

議案等	議決結果	会派名							無所属
		神奈川ネットワーク	共産党	みらい	公明党	鎌無会	かがやく	民主党	
第6号 鎌倉市総合計画条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第9号 鎌倉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第14号 平成24年度鎌倉市一般会計補正予算(第1号)(職員人件費暫定削減に係る減額等)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第22号 平成24年度鎌倉市一般会計補正予算(第2号)(議員報酬等暫定削減に係る減額)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第20号 鎌倉市副市長の選任について	同意	●	○	○	○	●	○	△	
第1号 鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	△	
第2号 建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求めることに関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第5号 鎌倉市議会議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
第6号 鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例の制定についての附帯決議について	可決	●	○	○	○	○	○	△	
第1号 岡本保育園の耐震強度確認と対策実施の早期化についての請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	

今定例会では、議員から6件の議案、市長から22件の議案が提出されました。主な議案の内容及び議会における議決の結果は次のとおりです。

なお、本条例可決後に、「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例の制定についての附帯決議について」(左欄に掲げ)が提出され、議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

下、後期実施計画)の推進を財政面で支えていくための「鎌倉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(市長提出議案)」の可決を受け、本市議会としても財政面での貢献を目的に、今任期中において、市議会議員の報酬月額等について4パーセントの削減を行うものです。議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

特別会計補正予算
下水道事業特別会計補正予算、大船駅東口市街地再開発事業特別会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算、介護保険事業特別会計補正予算及び後期高齢者医療事業特別会計補正予算の5特別会計補正予算は、それぞれ、本年8月から実施する職員給与の暫定削減に係る職員給与の減額などの内容で、減額補正を行うとするものです。

《議員提出議案》

鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例

自治体が率先してエネルギーの安定化を図り、中長期的な再生可能エネルギーの導入を計画的に取り入れ、市民が恒久的に安全で安心できる生活を送ることができるよう、省エネルギー推進及び再生可能エネルギー導入の促進について基本的な事項を定めようとするものです。公布の日から施行しようとするものですが、各種施策に関する基本的な方針を示す基本計画は、平成25年度中に策定しようとするものです。議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》

鎌倉市総合計画条例

総合的かつ計画的な市政運営を図るため、総合計画(基本構想、基本計画及び実施計画で構成される計画)の策定について、必要な事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

条例の一部改正

鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

第三次鎌倉市総合計画第二期基本計画後期実施計画(以下、後期実施計画)の推進を財政面で支えていくため、職員給与を暫定的に削減しようとするもので、本年8月1日から平成26年7月31日までの間の職員の給料月額については、現在条例で定めている給料月額の規定にかかわらず、現在の給料月額からそれぞれ職務の級に応じた割合を減じた額としようとするものです。また、その他諸手当等についても減額しようとするものです。

鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例の制定についての附帯決議

本条例については、昨年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、自治体が率先してエネルギーの安定化を図り、省エネルギーの推進及び再生可能エネルギーの導入促進を目的とした、理念的条例となっている。それだけに、議会として、鎌倉市が具体的に推進する施策などについて十分な調査・審議を行い、制定後、実効性ある施策の取り組みにつながるよう対応することが、立法機関である議会の責任であると考えます。よって、条例制定後は行政任せではなく、基本計画策定に向けて、議会みずから調査・検討を行うなど必要な対応を積極的に行うべきである。以上、決議する。平成24年6月28日 鎌倉市議会

全国市議会議長会から
 議員在職35年表彰
 及び15年表彰を受章

5月23日に開催された、全国市議会議長会第88回定期総会において、松中健治議員が議員在職35年以上特別表彰を、岡田和則議員が議員在職15年以上一般表彰をそれぞれ受章され、伊東正博議長から伝達されました。



編集後記

市の総合計画実施に向け、不足財源の確保を目的とした職員給与の暫定削減の条例が今定例会で可決されました。併せて議員も今任期末まで報酬削減を実施いたします。しかし数字のみでは限界のある話です。この財政状況下で何を優先・選択し、いかなる手段で市民の方の声に応えていくのか、本質的な議論が必要と痛感します。さて、今回子どもをテーマとした一般質問が数多く行われました。時を同じくして、国会においては子育て施策を含めた社

副市長の選任

市長から副市長の選任についての議案が提出され、議会では多数の賛成により同意しました。選任された方は、次のとおりです。

瀧澤 由人氏(茅ヶ崎市在住) 瀧澤氏は、都市整備部長、拠点整備部長、経営企画部長などを歴任しています。任期は、平成24年6月14日から4年間で。

会保障と税の一体改革法案の審議が開始されました。しかし、子育て環境が一定飛びに良好となる期待感を持つのは難しく、各自自治体が次世代の育成施策をより充実・推進させなければ、という切実感が各一般質問の根底に横たわっていたような気がします。(久坂くにえ)

議会広報委員会
 委員長 太田 治代
 副委員長 長嶋 竜弘
 委員 西岡 幸子
 委員 飯野 眞毅
 委員 久坂くにえ
 委員 渡邊昌一郎
 委員 小田嶋敏浩